

第24回 下水道管路管理主任技士
 実地試験（Ⅰ. 成果報告書作成に関する実務）【解答用紙】

解答例

受験番号

【問1】 本管用調査記録表

上流マンホール					路線番号				下流マンホール																									
マンホール番号	マンホール種別	マンホール深	土被り	マンホール蓋種別	路線番号	管種	管径	路線延長	マンホール番号	マンホール種別	マンホール深	土被り	マンホール蓋種別																					
21	1号マンホール	1.63 m	1.30 m	铸铁	21-1	陶管	φ 300 mm	19.00 m	22	1号マンホール	1.70 m	1.37 m	铸铁																					
マンホール内点検					マンホール内点検																													
異状なし					異状なし																													
継手部	継手数	管口	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	管口	管本数											
	写真番号																						[20 本]											
	内容								樹木根浸入 b														管不良本数 [5 本]											
	距離 (m)								5.13														取付け管数 [4 箇所]											
																								DVD番号										
本管部	本管数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20		[5 卷]											
	写真番号																						布設年度 [昭和 50 年]											
	内容												クラック 軸方向 a										クラック 軸方向 b											
	距離 (m)					3.08~ 3.73							7.10~ 7.31										10.19~ 10.45	占用位置										
取付け管部	取付番号							T-1					T-2	T-3	T-4								1. 国道											
	写真番号																						2. 県道											
	内容							左取付け管 浸入水 b					右取付け管 突出し c	左取付け管 樹木根浸入 a	右取付け管								3. 市町村道											
	距離 (m)						4.18						7.52	8.02	8.68								4. 私道											
考察		・ T-3、4：取付け管内に継手ズレが見られるため、取付け管の詳細調査が必要である。・ 本管11本目の軸方向クラックは「b」判定としたが、同一の管に取付け管接続不良もあるため早急に補修等の対応が必要と考える。																																
異状箇所	管の腐食	上下方向のたるみ		管の破損			管のクラック			管の継手ズレ			浸入水			取付け管の突出し			油脂の付着			樹木根侵入			モルタル付着			計 ※1					備考	
	A B C	A B C	a b c	a b c	a b c	a b c	a b c	a b c	a b c	a b c	a b c	a b c	a b c	a b c	a b c	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C							
	継手部																													1	・ T-1、2：接続不良及び浸入水が見られる。			
	本管部				1	2																									1	2		・ T-3：樹木根侵入による閉塞が見られる。
取付け管部																															1	1		
計				1	2																										1	3	2	

※1 「取付け管の突出し」「油脂の付着」「樹木根侵入」「モルタル付着」については、清掃等で除去できる項目とすることから異状箇所数のみ () 内に表記し、集計の対象外とする。

【問2】 スパン全体の評価と緊急度の判定

正 答

受験番号	
------	--

※ 設問の本管用調査記録表は、問1の解答とは異なります

(1) スパン全体で評価した場合のランク付け

診断項目	評価のランク
管の腐食	C
上下方向のたるみ	異常なし

※ 上記の診断項目についての評価ランク（「A」「B」「C」「異常なし」）を記入すること。

(2) 管1本ごとに評価した場合のランク付け

管1本ごとの不良ランク	不良本数 (本)	本管本数 (本)	不良発生率 ^{※1} (%)	評価のランク ^{※2}
a	0	16	0	B
b	4		25	
c	3		19	

※1 不良発生率の算定結果は、率の小数点以下を四捨五入して単位止まりとする。

※2 不良発生率によるスパン全体での評価ランク（「A」「B」「C」「異常なし」）を記入すること。

(3) 緊急度の判定

・上記の(1)スパン全体での評価結果及び(2)管1本ごとの評価結果により、

本設問管きよの緊急度判定は、「緊急度： III 」である。